

## 【取付ガイド】



株式会社シルバーアイ

### 安全上の注意

使用する方や他の人々への危害や損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。作業前に必ず本書をよく読み、本書の指示に従ってください。

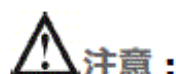
誤った取扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を、区別して説明しています。

お守りいただく内容の種類を、絵記号で区別して説明しています。



**警告：**

人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



**注意：**

人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



注意（しなければならない）の内容です。



禁止（してはいけない）の内容です。




実行（必ず行っていく）の内容です。






**警告**



- 本機を次のような場所に取り付けない  
交通事故やけがの原因となることがあります。
  - 前方の視界を妨げる場所
  - ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所
  - 同乗者に危険を及ぼす場所
- エアバッグの動作を妨げる場所には、本機に取り付けと配線をしない  
交通事故の際にエアバッグが正常に動作せず、けがの原因となることがあります。
- 電源コードの被覆を切って、他の機器の電源をとらない  
電源コードの電流容量をオーバーし、火災や感電の原因となることがあります。
- 故障や異常のまま使用しない  
制御不能や発火、交通事故の原因となることがあります。
- 分解や改造をしない  
事故、火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 次の場所にアース配線を接続しない  
制御不能や発火、交通事故の原因となることがあります。  
※ステアリング、シートレール、ブレーキ系統、燃料タンクなどのボルトやナット

	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 作業前に、輪止めを確実に設置する 車両が動き出し、交通事故やけがの原因となることがあります。</li> <li>● 作業前に、バッテリーの⊖端子を外す ショートによる感電やけがの原因となることがあります。</li> <li>● 作業前・作業中は、周囲を整頓する 作業中のけがの原因となることがあります。</li> <li>● 車体に穴を空けて取り付ける場合は、パイプ類、燃料タンク、電気配線などの位置を確認し、干渉や接触を避ける 周囲の部品が破損し、火災や感電の原因となることがあります。</li> <li>● 穴を空けた箇所にはサビ止めや浸水防止を施す 周囲の部品が破損し、火災や感電の原因となることがあります。</li> <li>● コード類は、運転操作の妨げとならないように引き回し、テープなどでまとめておく ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに絡むと事故の原因となることがあります。</li> </ul>
---	---

 注意	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 振動の多い所など、確実に固定できないところには取り付けない 本機が外れて、事故やけがの原因となることがあります。</li> <li>● 直射日光やヒーターの熱風などが直接あたるところには取付けない 本機の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 取り付けや取り付け位置の変更は、専門技術者に依頼する 事故や火災の原因となることがあります。お買い求めの販売店に依頼してください。</li> <li>● エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業場の注意事項を確認してから作業を行う エアバッグが誤動作する原因となることがあります。</li> <li>● 必ず付属品や指定の部品を使用する 指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を傷めたり、しっかりと固定できずに外れたりして、事故や故障の原因となることがあります。</li> <li>● コード類の結線終了後は、コード類をクランプや絶縁テープで固定する コード類が擦り切れてショートし、事故や火災の原因となることがあります。</li> <li>● コード類は、車体やネジ部分、シートレールなどの可動部に挟み込まないように引き回す 断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。</li> </ul>





## 各カメラおよび本体の取り付け

### 取り付け

各カメラの取り付け位置を決める

適切な取り付け位置、高さ、角度は車種によって異なります。取り付け後に、適切な映像が表示されているか確認してください。

 注意	
	<ul style="list-style-type: none"><li>● 走行中に脱落しないよう、確実に取り付ける 他車に危険を及ぼし、交通事故の原因となることがあります。</li><li>● 車体の前後や左右から突出しない位置に取り付ける 走行中に他車に接触し、交通事故の減員となることがあります。</li><li>● カメラの視野内に、サイドミラーやミラーアームなどが入らない位置に取り付ける 映像に死角が増え、交通事故の原因となることがあります。</li><li>● ストップランプやウインカーなど、強い光源の近くは避ける 強い光で映像が不鮮明となり、交通事故の原因となることがあります。</li></ul>

#### フロントカメラ

フロントグリル部、車体の左右センター位置に取り付けます。

#### リアカメラ

リアエンドパネル部、車体の左右センター位置に取り付けます。

左右センター位置への取り付けが出来ない場合は、センターから ±20cm 以内の位置に取り付けてください。

#### レフト/ライトカメラ

両サイドミラーの下側、またはボディ両側に取り付けます。

左右同じ位置・高さに取り付けてください。

※ 各カメラはボディが映るように（画面の約 10% ほど）取り付けてください。

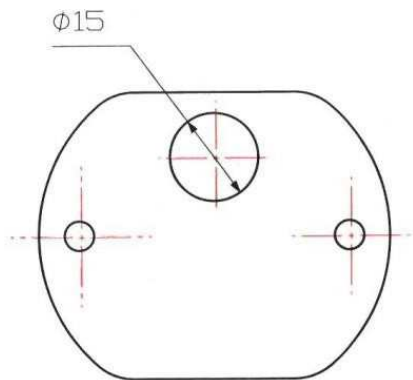
株式会社シルバーアイ

- ※ フロントおよびリアカメラは、可能な限り車体の左右センター位置になるよう取り付けてください。取り付け位置が左右センター位置から離れるほど、公差補正作業が困難になります。
- ※ 各カメラの高さを合わせると、俯瞰ビューでの歪みが軽減されます。

### カメラ取付推奨位置



※取付位置は、実際の車両により異なります。



- カメラを取り付ける位置の中心に、直径 15 mm の穴をドリルで開けます。
- 必要に応じて、穴のさび止めをします。

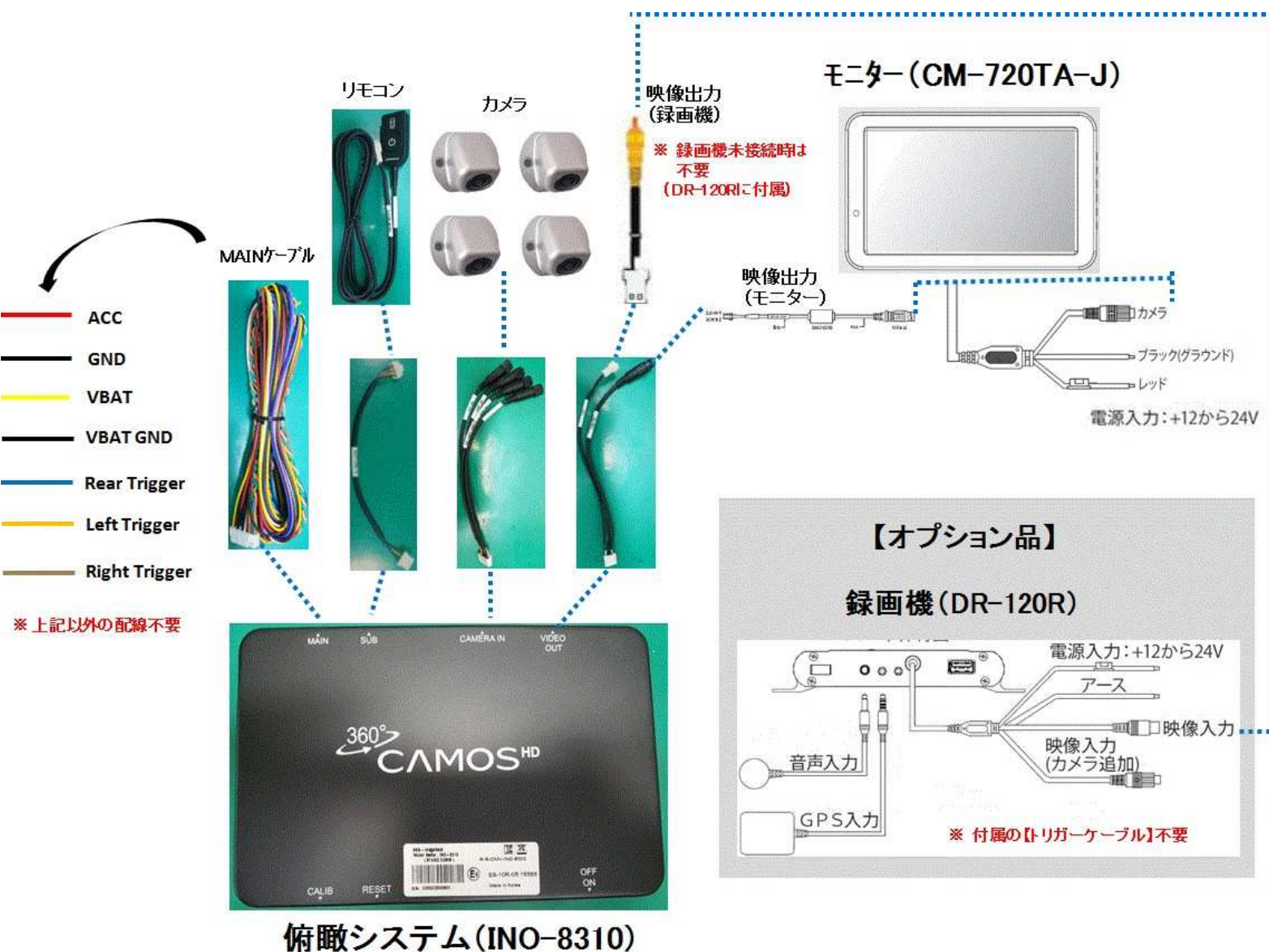


- カメラにカメラカバーをかぶせて、ねじ留めします(①)。
- 開けた穴にケーブルを通し、グロメットを取り付けます。
- 両面テープの剥離シートを剥がし、カメラをできるだけ水平に貼り付けます。



- 2 本のねじでハウジングを固定します(②)。(取付面の素材によっては、ドリルによる穴開けまたはその前処理、適切なネジの素材を選択することが必要になる場合があります。)
- ねじ穴埋め用シートを貼り付けます(③)。
- 開けた穴の裏側からシーリング材を塗り、水の浸入を防止してください。





※ 不明瞭な点がございましたら、シルバーアイカスタマーサポートセンターへご連絡をお願い致します。

シルバーアイ カスタマーサポートセンター

住所 神奈川県横浜市港北区  
新横浜2-14-2 KDX新横浜214ビル5F  
TEL 045(548)8952  
受付 10:00~12:00 13:00~17:00  
(土・日・祭日・当社休日を除く)

株式会社シルバーアイ

# CAMOS



株式会社シルバーアイ

お問い合わせ先 カスタマーサポートセンター 045-548-8952  
ml

<https://www.silver-i.co.jp/index.html>